

アーキテクチャ戦略SG 事務局提出資料 リファレンスアーキテクチャ成果物イメージ

令和4年2月14日

IPA・DADC

リファレンスアーキテクチャとして提示する作成物は以下の通り。

リファレンスアーキテクチャ作成物

| 作成物 | 概要 | 役割 |
|------------|--|--|
| アクター定義 | As-Isおよび全体ビジョン（次世代取引基盤）に関わるアクターを定義し、全体ビジョン実現に向けた各アクターの役割、範囲を明確化する。 | ・本アーキテクチャ検討内容の理解 ・システム化検討におけるリファレンス |
| 業務フロー（概要） | As-Isや各STEPにおける、アクター、業務およびデータのフローを提示。 As-Isから導出される課題と解決の方向性、それらを踏まえた在るべき業務フローを、次世代取引基盤に関わる全てのアクター（ステークホルダー）で共有する。 なお、課題の洗い出しや検討内容を明示するため、抽象度・記載形式は、コントロールしている。 | ・本アーキテクチャ検討内容の理解 |
| システム構成イメージ | 業務フローを踏まえ、想定される各アクターのシステムの配置と、システム間のI/Fを提示するもの。 | ・本アーキテクチャ検討内容の理解 ・システム化検討におけるリファレンス |
| データモデル | 業務フローを踏まえ、受発注、請求および決済における各データ標準のデータ連携をデータモデルとして提示するもの。 | ・本アーキテクチャ検討内容の理解 ・システム化検討におけるリファレンス |
| 業務フロー（詳細） | 各STEPにおける業務フロー（概要）をBPMNで提示。 なお、各領域における業務プロセスは多岐に渡るため、本書上は標準的な業務プロセスで記載している。そのため、各アクターにおけるシステム化検討においては、個々の業務プロセス、特性を踏まえた精緻化が必要となる。 | ・システム化検討におけるリファレンス |

アクター定義（今回イメージ提示なし）

業務フロー（概要）

システム構成イメージ

データモデル

業務フロー（詳細）

アクター定義（今回イメージ提示なし）

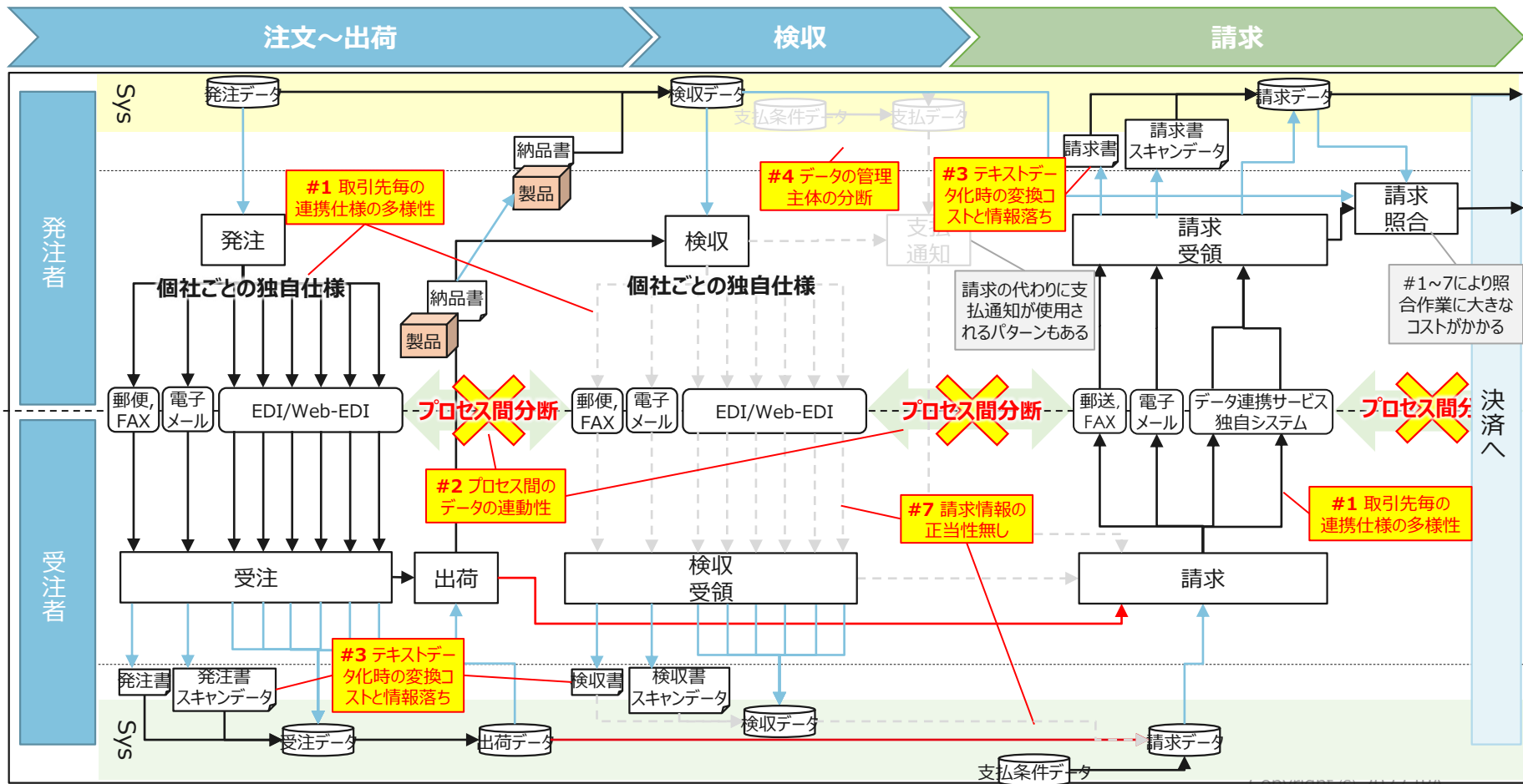
業務フロー（概要）

システム構成イメージ

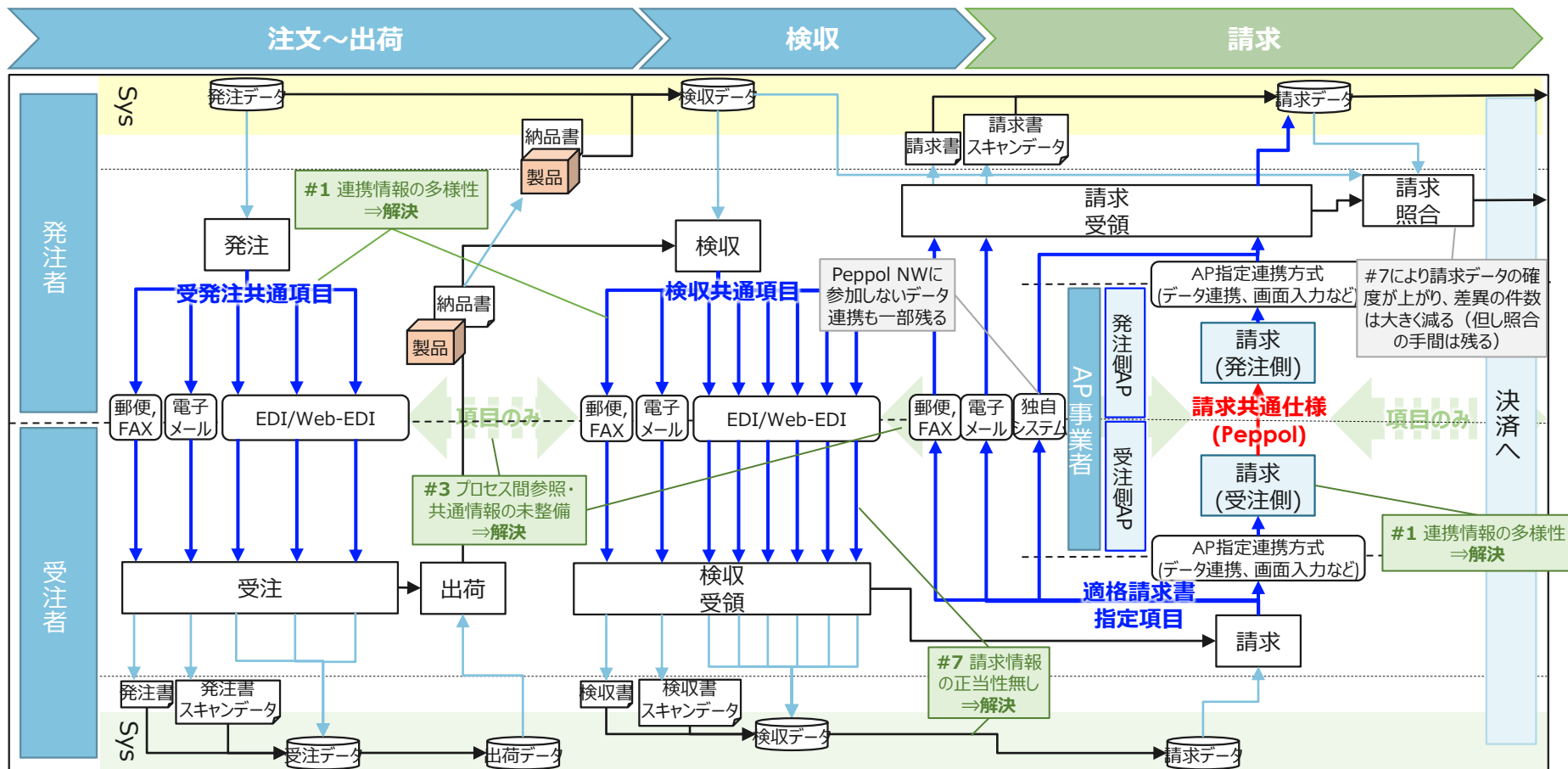
データモデル

業務フロー（詳細）

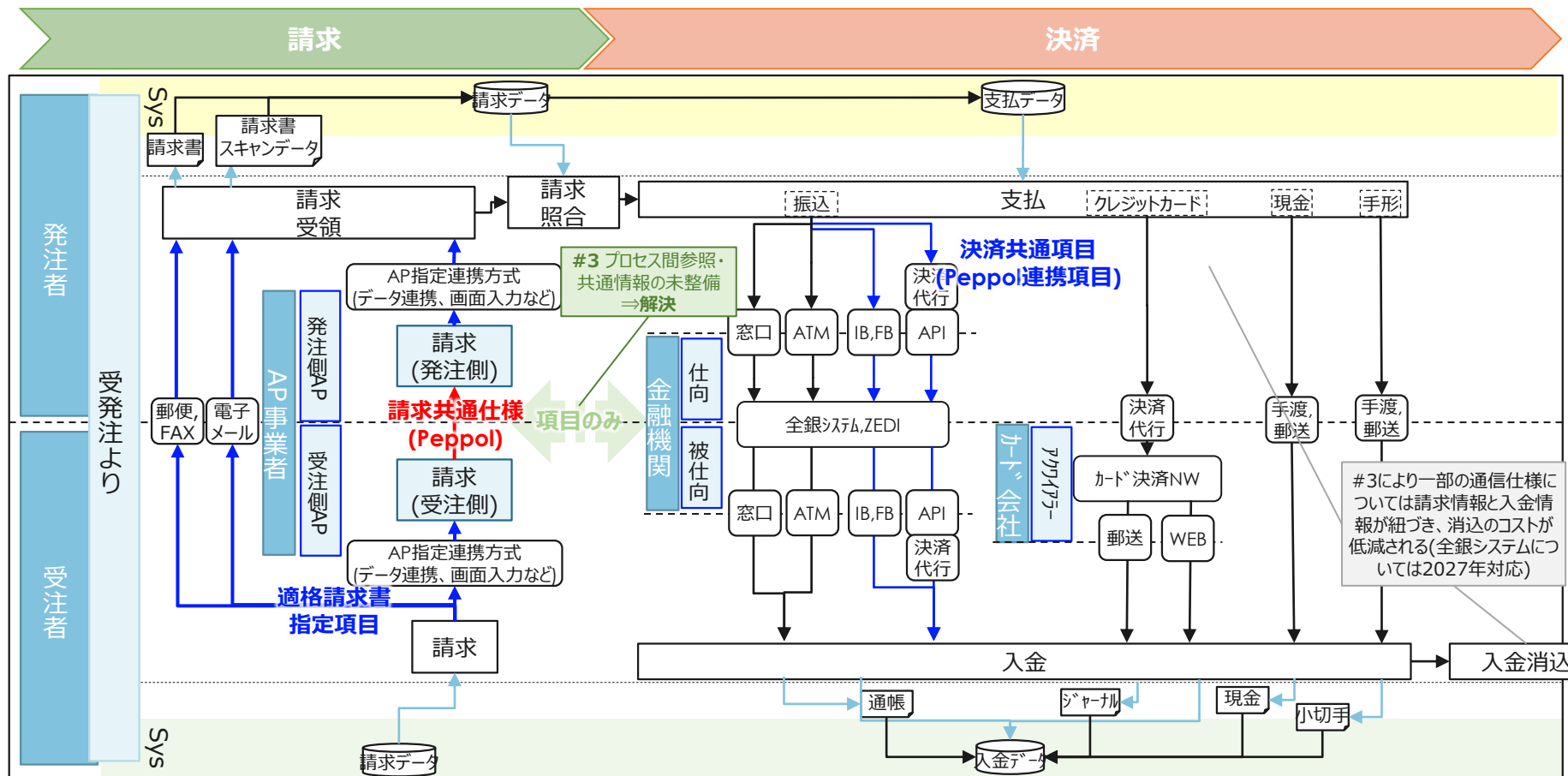
概要フロー (STEP0:受発注~請求)



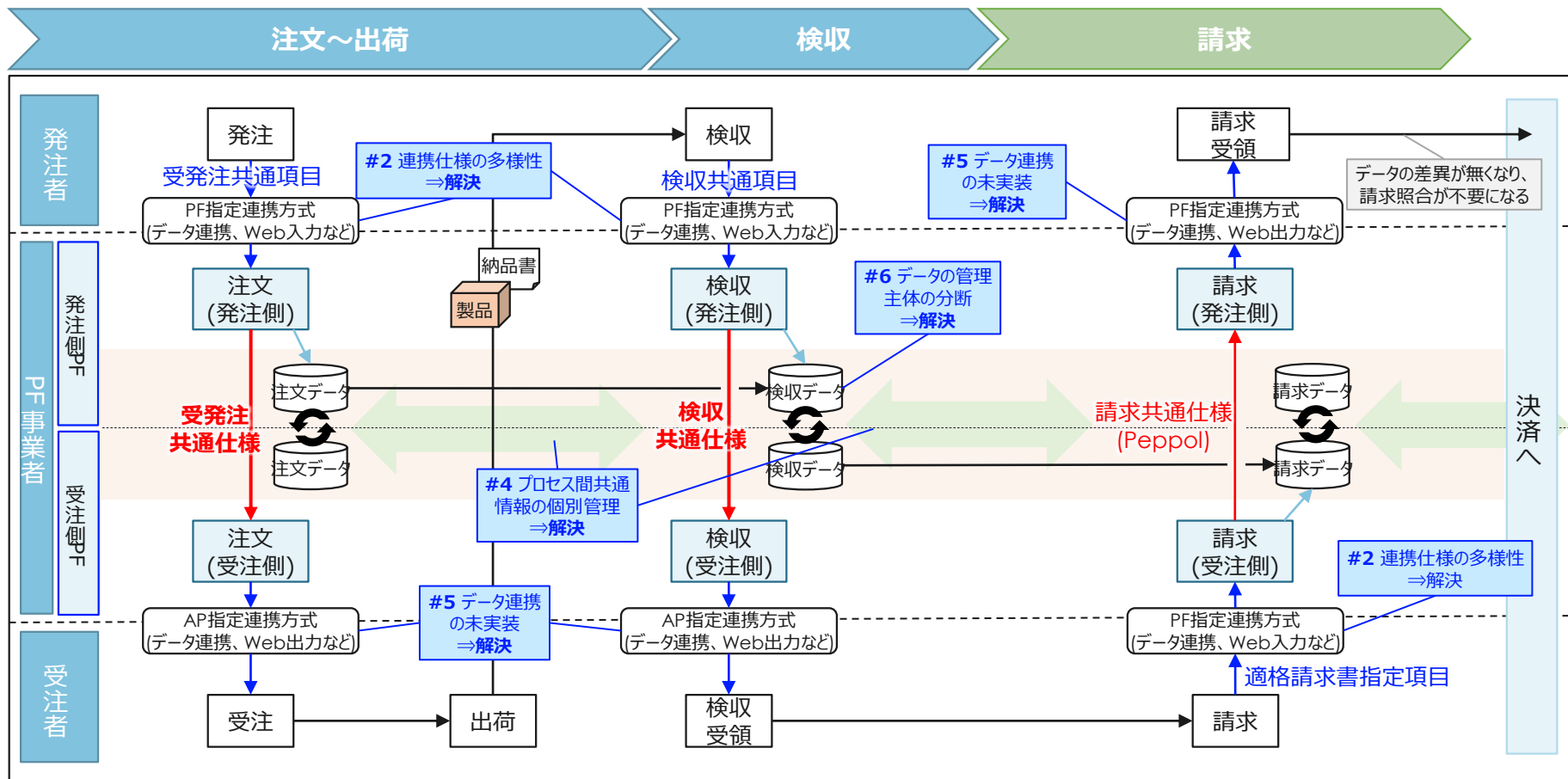
概要フロー（Step1：受発注～請求間の接続性の担保）



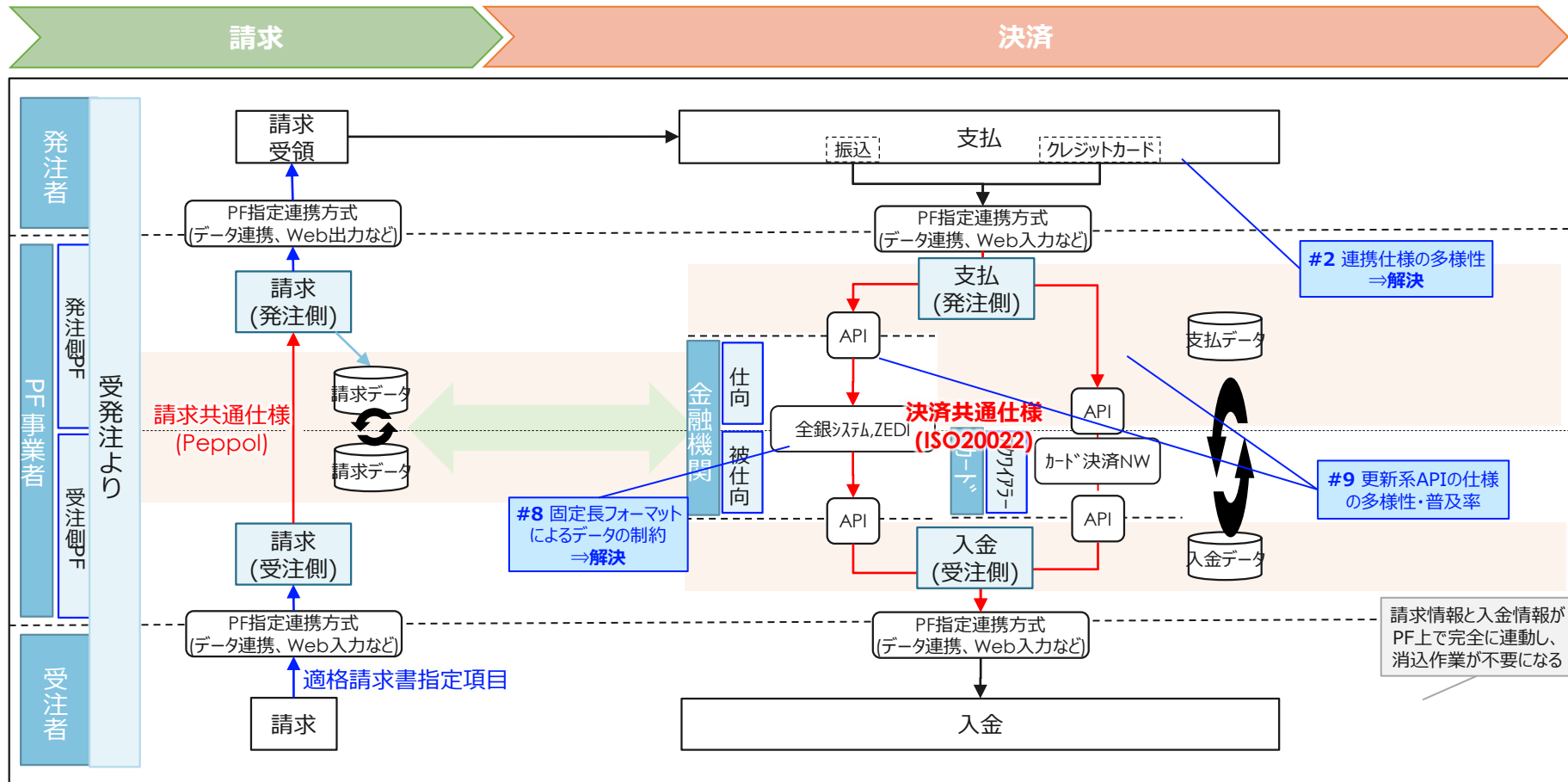
概要フロー (Step1 : 請求～決済間の接続性の向上)



概要フロー（Step2：PFへの取引の一本化 受発注～請求）



概要フロー (Step2 : PFへの取引の一本化 請求～決済)



アクター定義（今回イメージ提示なし）

業務フロー（概要）

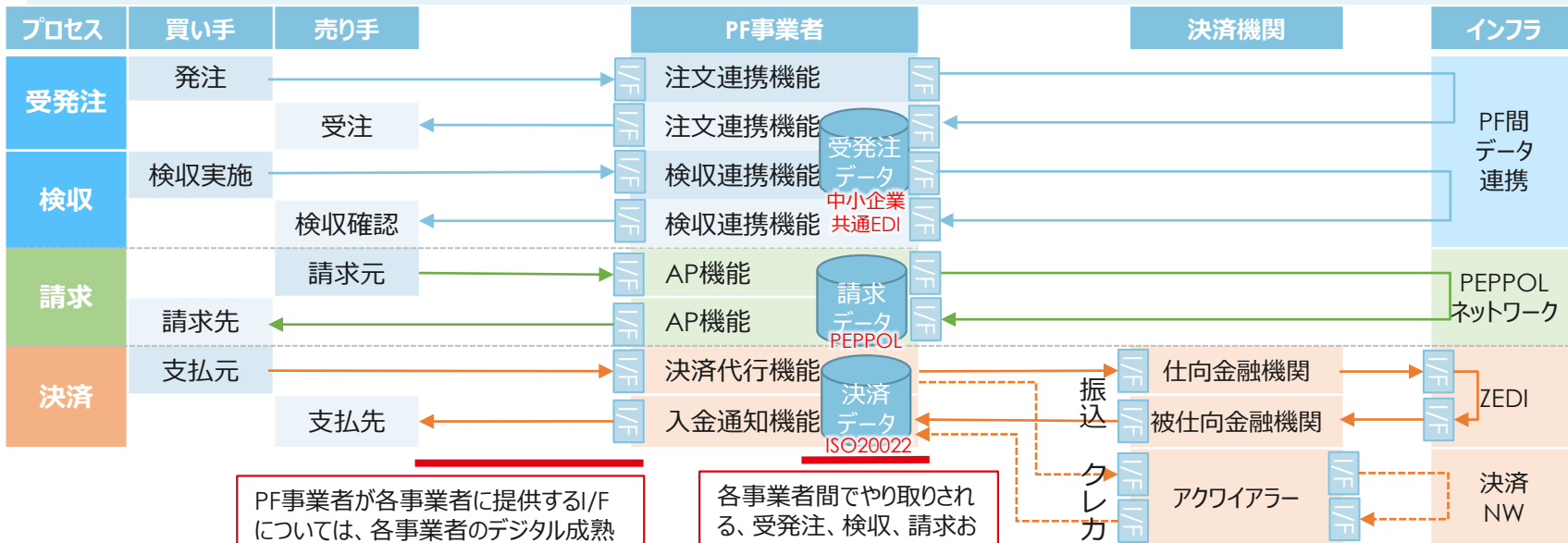
システム構成イメージ

データモデル

業務フロー（詳細）

次期取引基盤データ連携イメージ

各アクター間で連携されるデータおよび連携イメージを以下に示す。



PF事業者が各事業者に提供するI/Fについては、各事業者のデジタル成熟度に合わせたI/Fの提供が望ましい。
例：

- 既存の社内システムとの連携を目的とした各データ標準をやり取りするためのI/Fの提供(APIなど)
- 会計クラウドなど、事業者事務の実施環境をサービスとして提供

各事業者間でやり取りされる、受発注、検収、請求および決済情報をPF事業者が仲介することで、各情報の集積を実現する。また、データモデルを用いることにより、領域の異なるデータ標準のデータ利活用が可能となる

決済機関がPF事業者に提供するI/Fとしては、APIが望ましい。

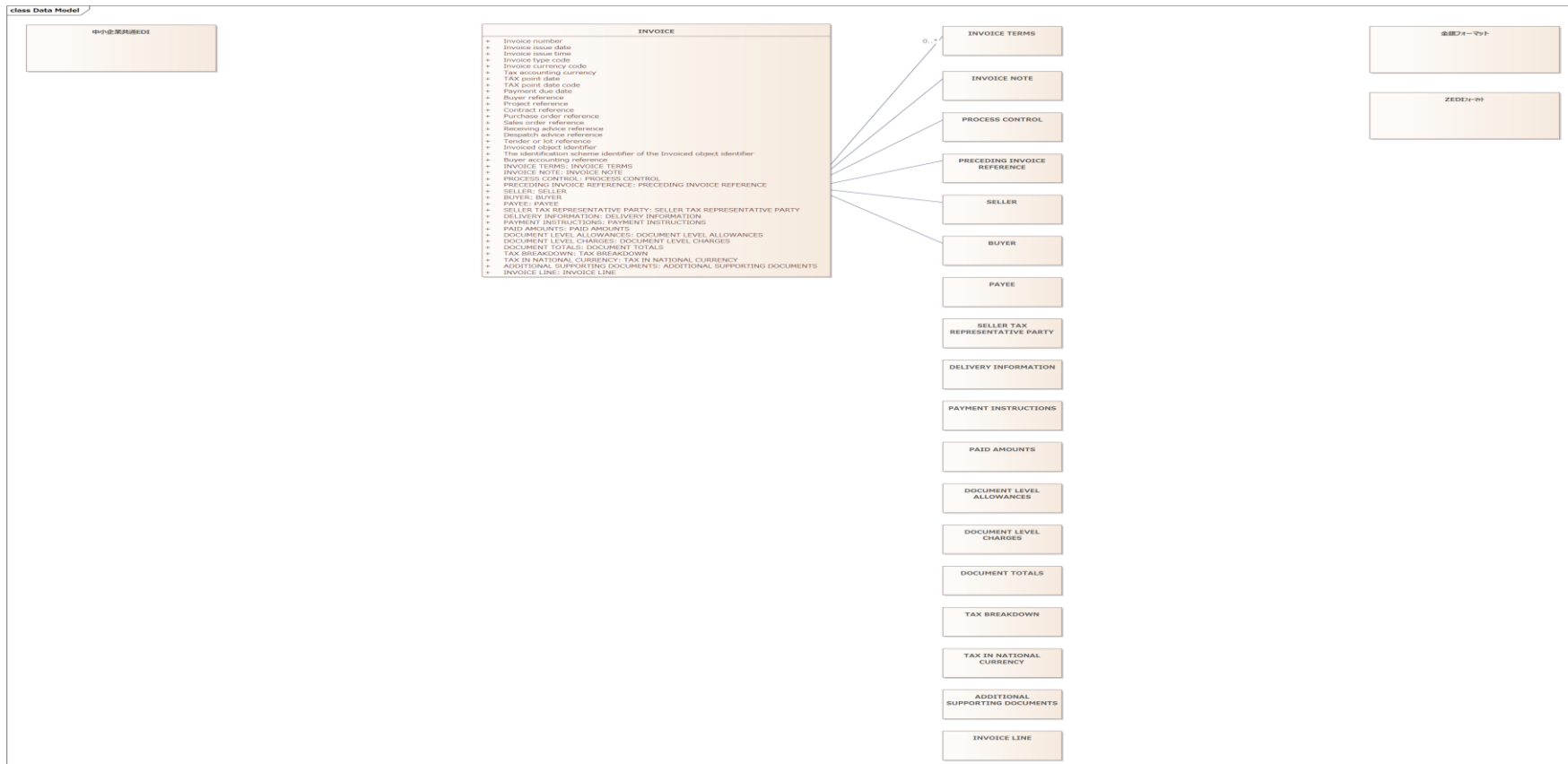
アクター定義（今回イメージ提示なし）

業務フロー（概要）

システム構成イメージ

データモデル

業務フロー（詳細）



アクター定義（今回イメージ提示なし）

業務フロー（概要）

システム構成イメージ

データモデル

業務フロー（詳細）

年度末の成果物（想定）の業務フロー（詳細）の一覧と今回の公開対象を以下に示す。

| Lv1 | Lv2 | Lv3 | フロー名 | アーキSG時点の公開対象 |
|-------------|-------|------------|------------------------------|--------------|
| AsIs | 注文-請求 | 通常 | 10101_AsIs_注文～請求-通常 | |
| | | 注文変更 | 10102_AsIs_注文～請求-注文変更 | |
| | | 返品・値引・請求取消 | 10103_AsIs_注文～請求-返品・値引・請求取消 | |
| | 請求-決済 | 通常請求 | 10201_AsIs_請求～決済-通常請求 | |
| | | 返還請求 | 10202_AsIs_請求～決済-返還請求 | |
| ToBe(Step1) | 注文-請求 | 通常 | 20101_Step1_注文～請求-通常 | |
| | | 注文変更 | 20102_Step1_注文～請求-注文変更 | |
| | | 返品・値引・請求取消 | 20103_Step1_注文～請求-返品・値引・請求取消 | |
| | 請求-決済 | 通常請求 | 20201_Step1_請求～決済-通常請求 | |
| | | 返還請求 | 20202_Step1_請求～決済-返還請求 | |
| ToBe(Step2) | 注文-請求 | 通常 | 30101_Step2_注文～請求-通常 | ○ |
| | | 注文変更 | 30102_Step2_注文～請求-注文変更 | |
| | | 返品・値引・請求取消 | 30103_Step2_注文～請求-返品・値引・請求取消 | |
| | 請求-決済 | 通常請求 | 30201_Step2_請求～決済-通常請求 | ○ |
| | | 返還請求 | 30202_Step2_請求～決済-返還請求 | |

30101-Step2_注文～請求-通常

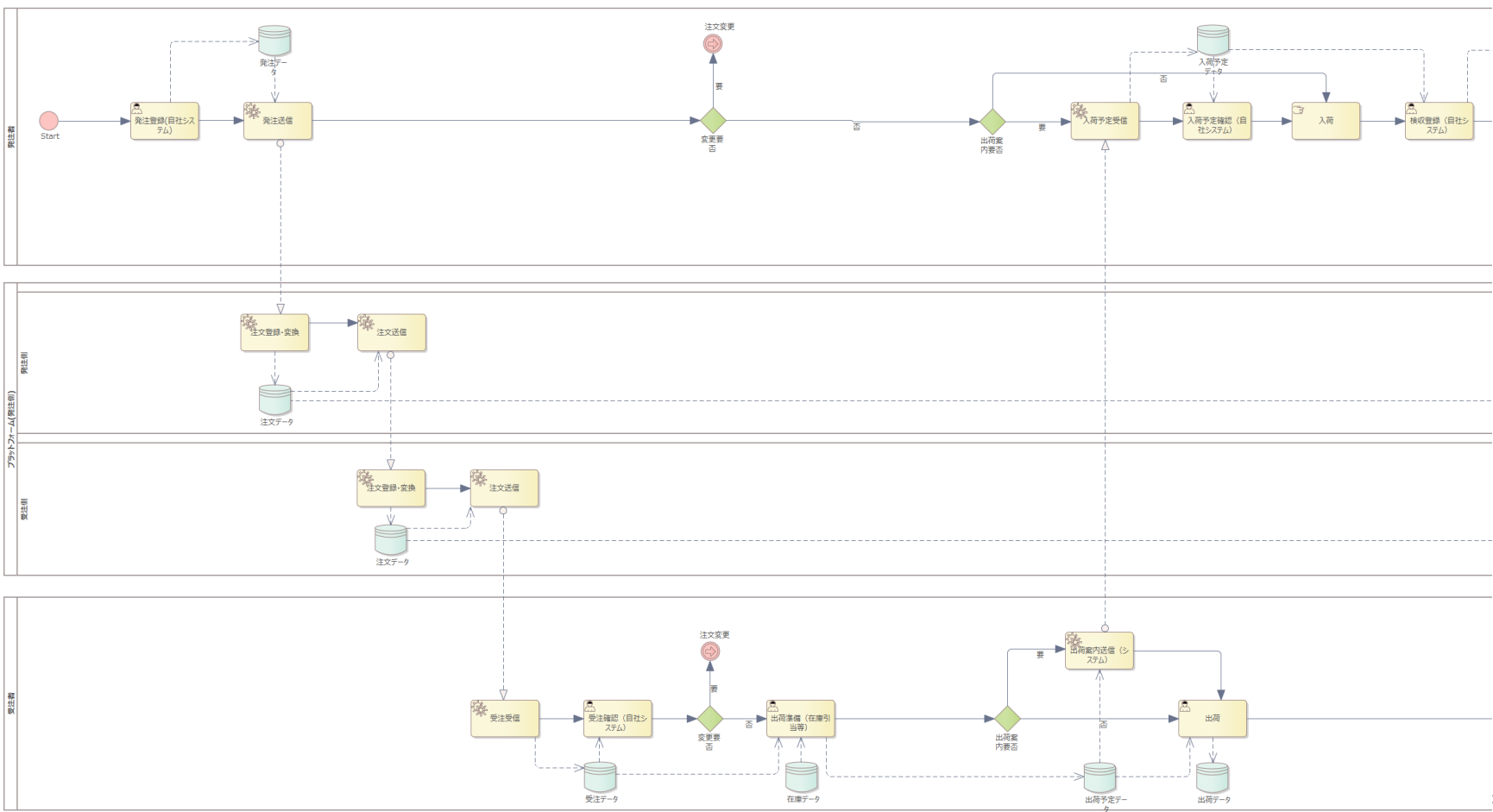
当業務フローについては、受注側・発注側の連携基盤への接続方法によりフローが異なる。フロー間に大きな差異はないが、明解さを期すためフローを以下の4パターンに分割している。

| | | 受注側 | |
|-----|-------|---|--|
| | | データ連携 | Saas |
| 発注側 | データ連携 | 30101-1_Step2_注文～請求-通常(データ連携-データ連携) 対象ページ：P19～20 | 30101-2_Step2_注文～請求-通常(データ連携-Saas) 対象ページ：P21～22 |
| | Saas | 30101-3_Step2_注文～請求-通常(Saas-データ連携) 対象ページ：P23～24 | 30101-4_Step2_注文～請求-通常(Saas-Saas) 対象ページ：P25～26 |

データ連携：ERP等の業務システムより連携基盤に自動でデータ連携を行う。主に大企業を想定。
Saas：連携基盤を担う事業者が提供するSaasに直接注文データを登録する。主に中小企業を想定。

30101-1_Step2_注文～請求-通常(データ連携-データ連携) 1/2

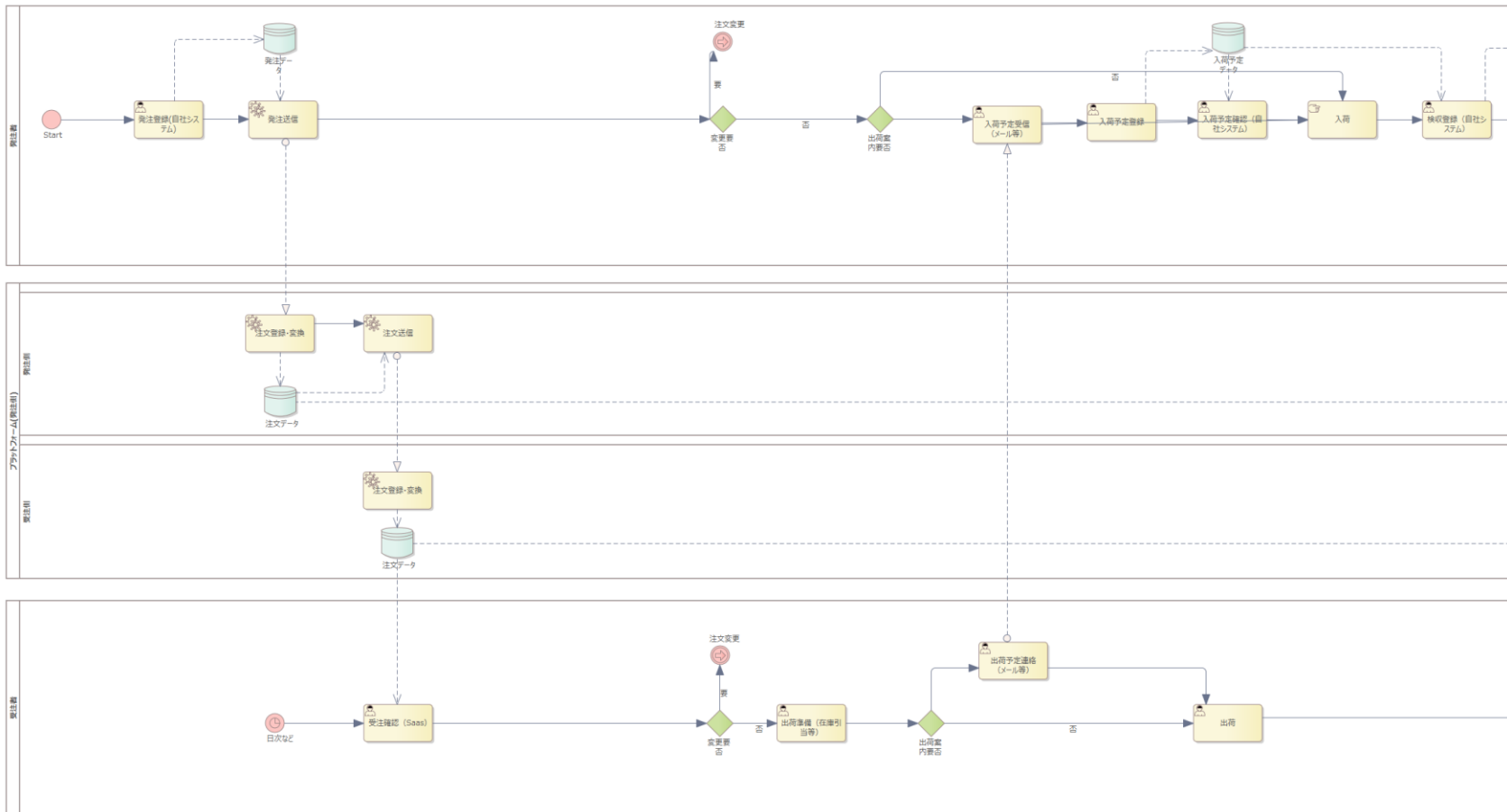
Business Process 30101-1_Step2_注文～請求-通常(データ連携-データ連携)



次ページへ

30101-2_Step2_注文～請求-通常(データ連携-SaaS) 1/2

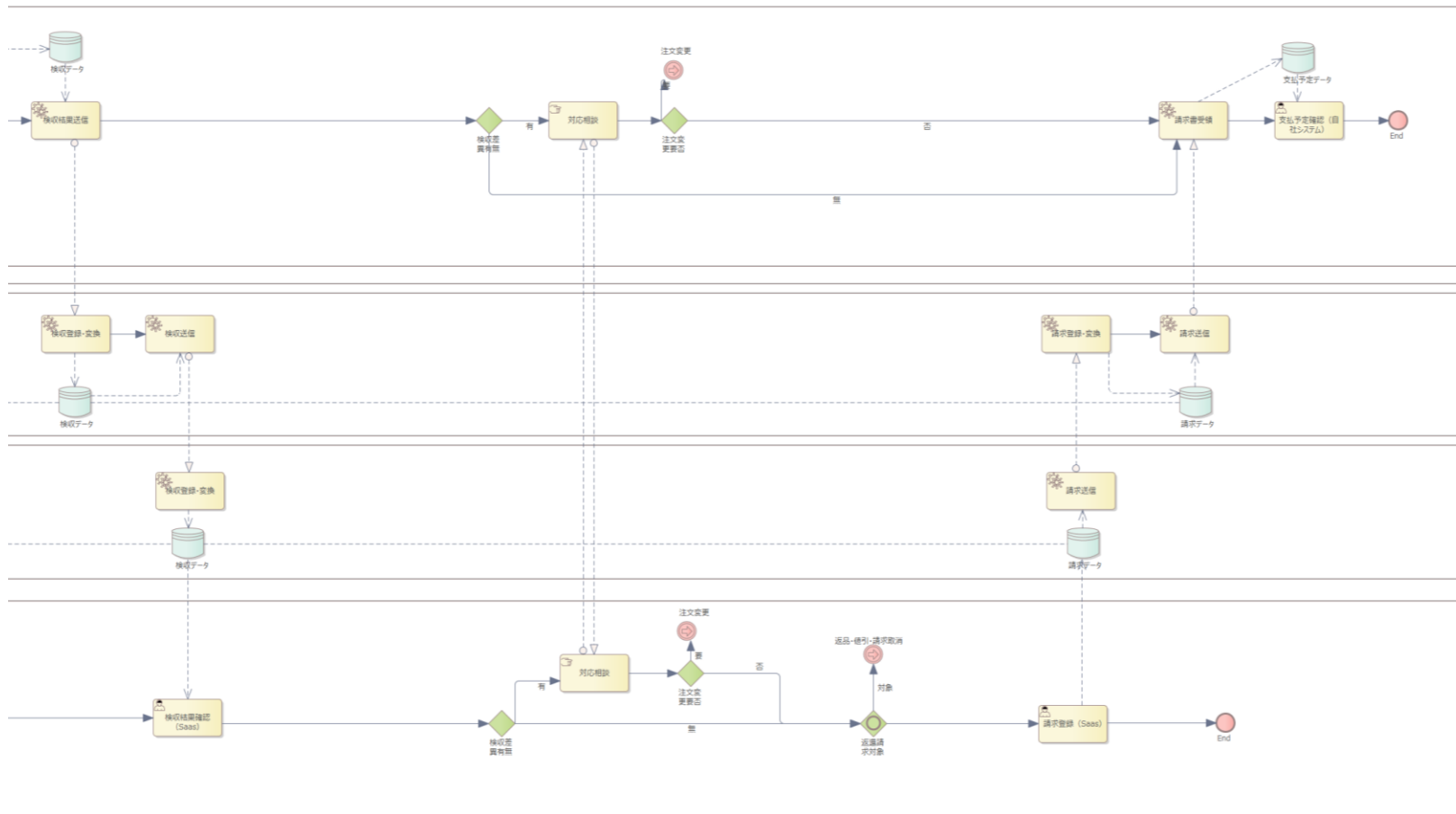
Business Process 30101-2_Step2_注文～請求-通常(データ連携-SaaS)



次ページへ

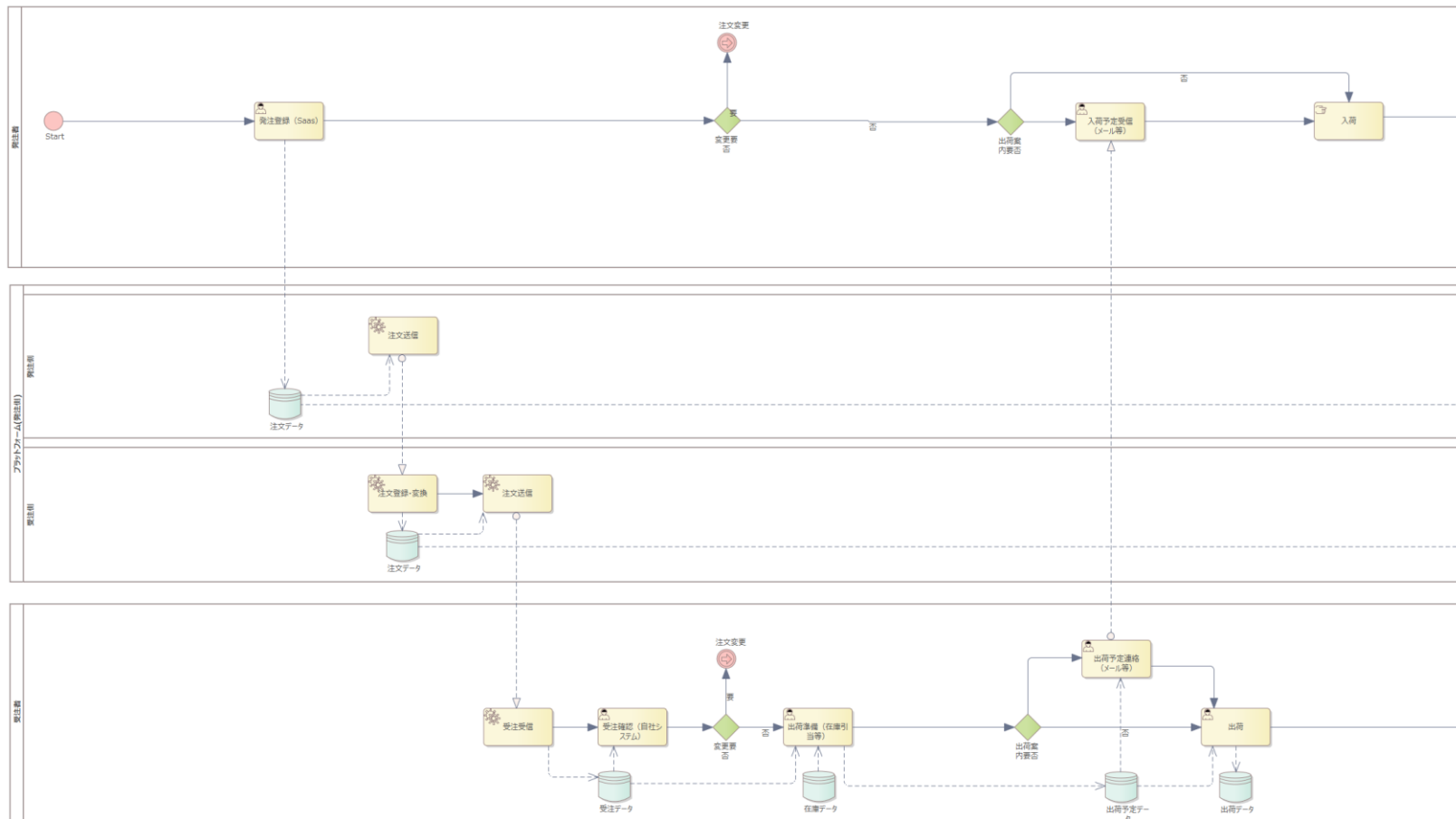
30101-2_Step2_注文～請求-通常(データ連携-SaaS) 2/2

前ページより



30101-3_Step2_注文～請求-通常(SaaS-データ連携) 1/2

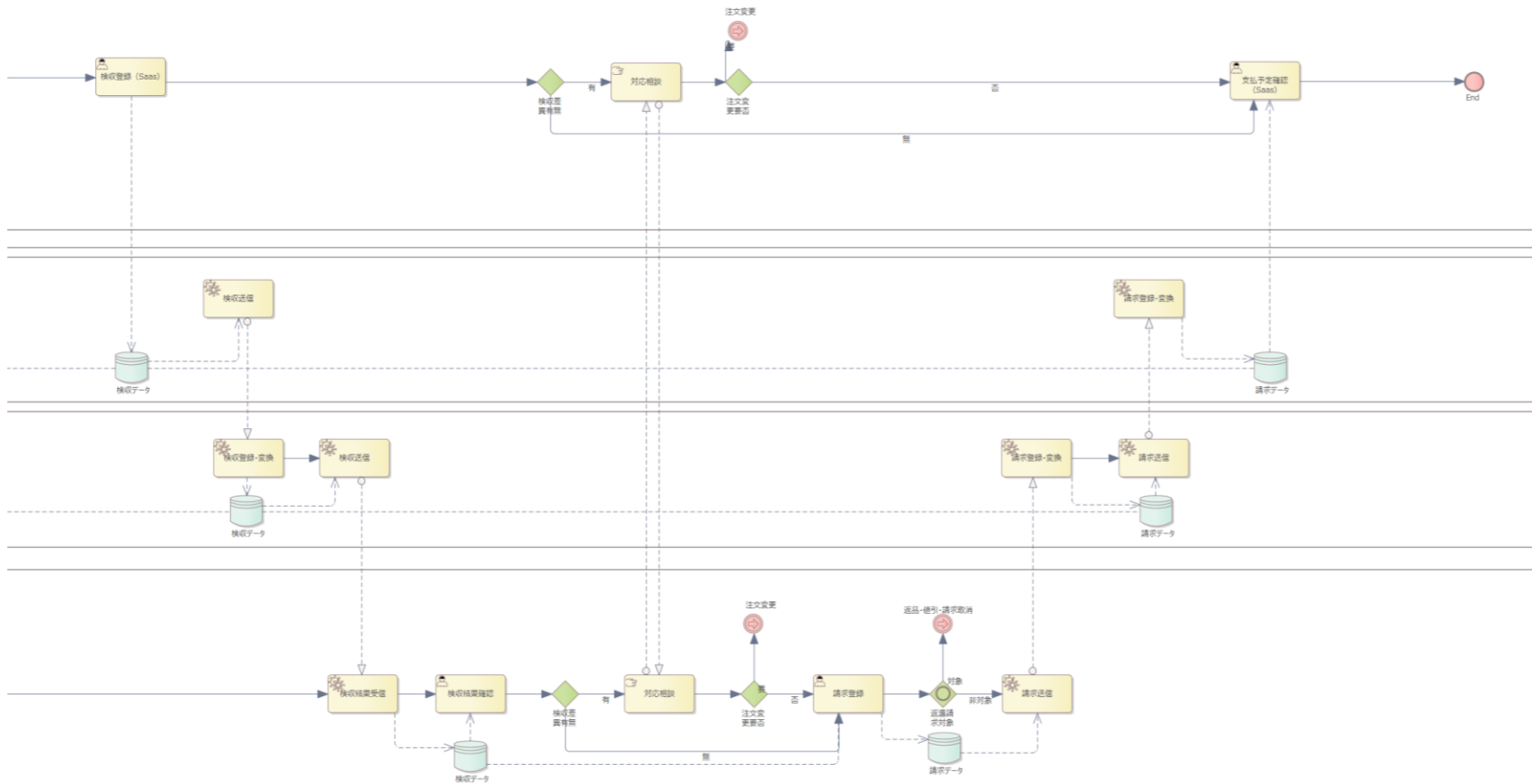
Business Process 30101-3_Step2_注文～請求-通常(SaaS-データ連携)



次ページへ

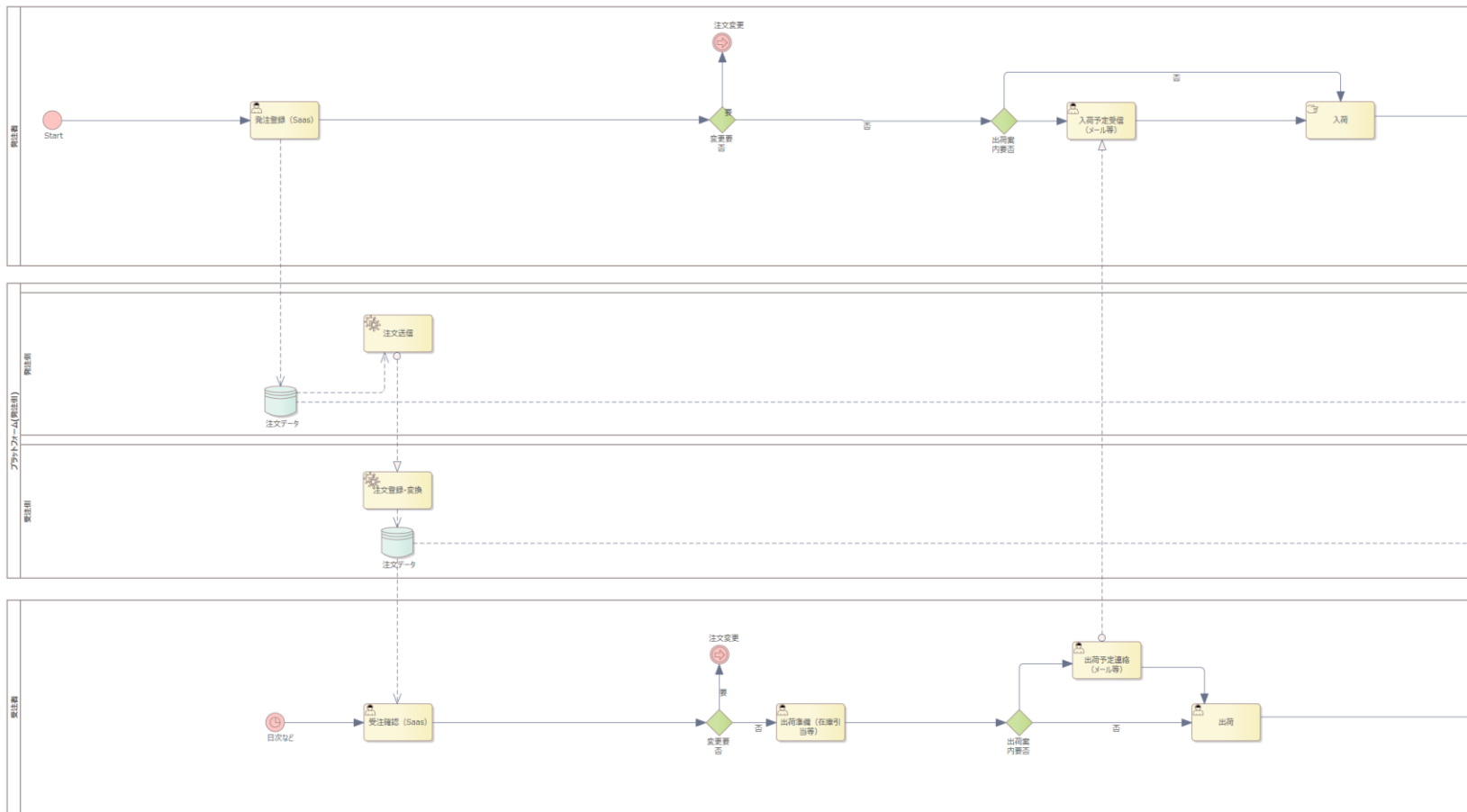
30101-3_Step2_注文～請求-通常(SaaS-データ連携) 2/2

前ページより



30101-4_Step2_注文～請求-通常(SaaS-SaaS) 1/2

Business Process 30101-4_Step2_注文～請求-通常(SaaS-SaaS)



次ページへ

30101-4_Step2_注文～請求-通常(SaaS-SaaS) 2/2

前ページより

